

社会教育・文化振興課からお知らせ

市民の力で「吹奏楽のまち もりやま」が動き出す

ルシオール ジュニアバンド設立へ

市民ホール ☎・☎(583)2532

吹奏楽のまちを目指す本市では、中学校・高校でも部活動として吹奏楽が活発で、ほかにも、市民ホールを拠点に大人のための「市民吹奏楽団」、中高生のための「ルシオール コース ウインド オーケストラ」が活動しています。市民ホールは、吹奏楽を楽しむ市民の裾野を広げようと、令和7年4月にルシオール ジュニアバンド(小学生の吹奏楽団)の設立を目指してきました。

小学生から中高生、大人まで、世代を超えて吹奏楽を楽しめるまちにしたい

～ルシオールジュニアバンド設立に向けた、これまでの取り組み～

山形県の高校から守山の子どもたちへ

9台の楽器と一緒に 吹奏楽の楽しさと情熱を引き継いで



夏休みに山形県米沢商業高校へ
楽器の受け取りに行きました

楽器の状態を丁寧に確認。「修理して大切に使いたい。感謝している」



米沢商業高校から市民ホールに運んできた楽器と、小森さん(中)、武藤さん(右)、縁を取り持った清原さん(左)

統廃合で新しい高校となる山形県立米沢商業高校では、惜別をこめて制服生地で名刺入れを作るようになりました。取引先を通じて注文を受けた株式会社 清原(古高町)の代表取締役社長の清原 大晶さんは、市民ホールが楽器を集めていることを思い出して、ダメもとで「統廃合するなら吹奏楽部の楽器を提供してくれるかも」と両者をつなぎました。

これが縁となり、市民ホールの小森さんと武藤さんが遠い山形県の米沢商業高校に出向いて楽器の状態を確かめ、廃棄されてしまう予定だった9台が本市に運ばれてきました。

ジュニアバンド設立に向け、コースの子どもたちが先生になって、小学生に吹奏楽の楽器を体験してもらうイベントを3月に開催したところ、大勢の児童が参加しました。

市民ホールこもりしんやの小森 慎也さんと武藤 千尋むとうちひろさんは、確かな手ごたえを感じたといいます。



小学生の楽器体験(3月)

ジュニアバンドで子どもたちが使う楽器は、8月31日時点で約40台が寄せられました。しかし、まだクラリネットやサクソ、ホルン、チューバが不足していて、吹奏楽の経験があり楽器を持っている市民だけでなく、吹奏楽をしていなくても知人や友人へ声をかけて協力してほしいと呼びかけているそうです。

ルシオール ジュニアバンド入団希望者へのご案内

対 令和7年4月時点で小学5、6年生

申 11月15日(金)～12月28日(土)に市民ホール
ホームページまたは、右記申込
フォームから申し込み。

入団説明会 令和7年1月

入団式 令和7年4月20日(日)



入団説明会
申込フォーム